

IV 危険体感教育の実施

本年度の危険体感教育は、当協会の会員事業場である株式会社中山製鋼所様のご支援とご協力により、年4回（令和4年5月に2回、10月に2回）、安全防災管理室より3名の講師（吉尾室長様、松島作業長様、坂本指導員様）を派遣していただき、西船町管理センターの教育会場と設備をお借りして、計画通り開催することができました。

1 受講者数

年月	月日	受講者（名）	受講事業場（社数）
令和4年 5月	5月16日	16	7
	5月24日	16	8
令和4年 10月	10月21日	18	9
	10月28日	18	9
	計	68	33

2 教育内容

（1）危険体感教育の講義

『労働災害の現状』と『危険体感教育の意義』について解説をしています。

（2）危険体感教育の教習

各回とも3班にグループ編成して3会場をまわって危険体感の教習を行っています。

（3）危険体感教育のまとめ

危険に対する『感受性』と『敢行性』の関係、及び『安全を意識した行動』について解説しています。

3 教育風景



吉尾室長より回転装置を使用したロープ引っ張り体験の説明



モーター回転装置での作業着の巻き込まれ体験



脚立での昇降と高所作業での墜落・転落の危険体感



松島作業長よりボール盤での巻き込まれ体験の説明



ロール装置の入側での巻き込まれ・挟まれ体験



坂本指導員よりVR（仮想現実）で感電をリアル体験